

第118号

# ひこね 市議会だより



## 平成24年5月臨時会・6月定例会

- 議会で決まったこと ..... 2~5
- 個人質問 ..... 6~11
- お知らせ ..... 12

YOSAKOIソーラン日本海  
彦根三十五万石大会  
(6月24日・彦根駅前通り)

決定しました!

5月臨時会で議長、副議長、各委員会委員の選任等を行いました。平成24年の委員会構成は下記のとおりです。



監査委員  
西川正義議員



副議長  
徳永ひで子議員



議長  
杉本君江議員

委員会の構成

(平成24年5月18日現在)

企画総務消防常任委員会  
(企画、財政、税務、総務、消防などを審査しています)

- ◎北村 收      八木 嘉之      北川 元気      宮田 茂雄
- 赤井 康彦      馬場 和子      安澤 勝      野村 郁雄

福祉病院教育常任委員会  
(福祉、病院、教育などを審査しています)

- ◎辻 真理子      杉本 君江      前川 春夫      山田多津子
- 谷口 典隆      上杉 正敏      有馬 裕次      西川 正義

市民産業建設常任委員会  
(民生、保険年金、産業、建設、上下水道などを審査しています)

- ◎田中 滋康      山内 善男      徳永ひで子      渡辺 史郎
- 小川喜三郎      矢吹 安子      安居 正倫      安藤 博

予算特別委員会

- ◎矢吹 安子      山田多津子      安居 正倫      上杉 正敏
- 前川 春夫      西川 正義      小川喜三郎      辻 真理子
- 有馬 裕次      谷口 典隆      北川 元気      宮田 茂雄

議会改革特別委員会

- ◎八木 嘉之      上杉 正敏      野村 郁雄      安澤 勝
- 北村 收      安藤 博      西川 正義      山内 善男

議会運営委員会

- ◎谷口 典隆      宮田 茂雄      渡辺 史郎
- 赤井 康彦      辻 真理子

議会報編集委員会

- ◎山田多津子      上杉 正敏      安居 正倫      辻 真理子
- 有馬 裕次      安澤 勝      宮田 茂雄

※ ◎=委員長、○=副委員長

6月定例会

5月臨時会



小学校卒業まで  
入院医療費の助成  
10月から実質無料化へ

外来での化学療法  
現在の4床から  
12床へ増床



犬上分署・消防団第7分団の  
消防ポンプ車が更新

予算特別委員会



病児・病後児保育事業 556万6千円  
藤野こどもクリニックで9月から実施  
定員は3名

「緊急経済対策」

住宅リフォーム促進事業 1,863万4千円  
申込者全てに対応するため追加108件の補正



中学校で武道必修化

2,604万円  
剣道用防具  
1校につき80組購入



# 常任委員会レポート

## 防災、消防救急用無線をアナログからデジタルへ

### 企画総務消防

#### 審査

- ・ 条例改正1件
- ・ 財産の取得に関する議決案件2件
- ・ 工事請負契約の締結に関する議決案件2件

#### 内容

- ・ 大飯原発再稼働の断念に関する請願1件
- ・ 犬上分署に水槽付き消防車、消防団第7分団に普通消防車計2台を配備（更新）する
- ・ 消防法の定めにより、防災行政無線及び消防・救急用無線をアナログからデジタル方式に変更整備する

#### 結果

議案はすべて原案どおり可決、請願は賛成多数で採択

## 平成24年10月1日から小学生の入院費は無料

### 市民産業建設

6月定例会で、「子どもに係る医療費の助成に関する条例案」1件を審査し、その結果、委員全員の賛成で可決しました。

#### 対象者

本市区域内に住所を有する小学生(生活保護家庭、施設入所等、すでに医療費無料の小学生は除く)

#### 範囲

入院に関し必要な医療に係る経費で3割の自己負担分

#### 方法

助成対象者の保護者に対し申請に基づく精算交付

## 難病指定を求める請願を採択

### 福祉病院教育

6月定例会で、「複合性局所疼痛症候群(CRPS)の難病指定を求める意見書の提出を求める請願」1件を審査しました。

#### 内容

CRPSというのは、交通事故や外科手術、採血や点滴などにおける微細な損傷等によって発症するときに、10万人に約5人と言われ、治療法は未確定なものです。

#### 結果

CRPSを難病に指定し、治療法を確立することなどを求めて提出されました。審査の結果、委員全員の賛成で採択しました。

宮田 茂雄

## 通学路の安全確保について

校から  
地域へ  
の呼び  
かけを  
強化し  
ていく。



▲通学の状況

**Q** 要対策箇所が多かった場合の対応は。  
**A** 優先順位を定め実施、補正予算措置を行う。

**Q** 通学路の安全点検は。  
**A** 市の要綱や国の合同点検要領により緊急に点検を行い、危険箇所を抽出・把握する。

**Q** 今後の通学路の安全対策はどうか。  
**A** 点検結果を基に担当部署と協議、要緊急対応箇所から実施していく。

**Q** 自治会やPTAからの要望への対応は。  
**A** 担当部署と協議検討し、対策を実施する。

**A** 緊急点検を行い安全対策を実施する

## 小中学校の夏休み期間短縮見直しを

今後、学校長やPTAの代表らで構成された「学校の休業日検討委員会」において、夏休みを含めた休業期間等について検討していただき、その答申を踏まえた上で、見直しも含め総合的に判断していきたい。

**Q** 小中学校では授業時間数の確保について各校で苦慮しているところだが、学習環境をより整えることの必要性は感じている。



▲現在は小中学校の教室に扇風機が設置

**Q** 猛暑が懸念され、節電が求められる中、現状で小中学校教室へのエアコン設置が困難であるならば、せめて小学校の運動会の実施時期や夏休み期間の短縮を見直しては。

谷口 典隆

**A** 見直しも含め総合的に判断する

## 金子新院長の市立病院への方針は



▲彦根市立病院

**Q** 金子新院長の市立病院に対する方針は。  
**A** 一点目は地域医療支援センターに設置される休日急病診療所で、軽症の患者さんを診療、市立病院では急性期、超急性期の患者さんを診療する体制を構築。二点目は県の地域医療再生計画により、産科医を確保し、市立病院での医師による分娩の再開を成し遂げること。三点目は病院経営の黒字基調を確実にし、良質な医療を提供すること。この三点の課題を克服するため、医師会、圏域内の病院、保健所、行政等と連携し、何より市民の皆様のご理解を得ることが必要と認識している。

**A** 救急医療整備、産科医招聘、経営安定

辻 真理子

### Q 中学校給食を市独自の事業で実施を



▲稲枝中学校の給食室

中と鳥居本中も同時の取組で給食を実施していく。

Q 豊郷町と協議を進めている中学校給食の取組が依然として進んでおらず、豊郷町では独自の取組の運動が始まっている。彦根市でも独自で進めるべきではないか。また、稲枝中の自校方式の給食は存続すること、鳥居本中は小学校からの配送式で、市民が期待をする給食実施に一日も早く一歩を踏み出すべきと考えるが見解は。

山田多津子

A 財政的には市単独でも可能な状況になった。ある程度期限を決めて、地域活性化事業債を活用して負担をかける方法で対応していく。稲枝

### Q ひこね燦ぱれす未利用地の活用を



▲ひこね燦ぱれす周辺未利用地

ただ今中、現段階では候補地の一つとして考える。

Q ひこね燦ぱれす周辺未利用地は、南彦根駅に大変近く、交通の便も非常に良い立地条件に恵まれた土地であるが、三十年近くも塩漬け地になっているのは大きな問題である。今年度中にも拠点図書館の方向性が出される中、これほど最適な場所はないと考えるが。

赤井 康彦

A 湖東圏域内図書館整備にかかる検討委員会において図書館の機能や規模、交通アクセス、住民に身近な図書館としての利用圏域、図書館ネットワーク構築等を検討し、候補地

### Q 誰にも優しいまち彦根になるために



▲駐車場の障害者マーク

Q バリアフリーマップの充実と啓発を図るべき。

A 現在325施設等の情報を提供しているが、常に最新情報を提供しハード・ソフト両面のバリアフリー化推進のため啓発に努める。

Q 自治会で情報を把握していない住民の対応は。

A 公共的団体が行う地域住民の福祉向上に寄与する活動のうち、公益性が高いと認められるものを行う場合にあつては、その活動に必要な限度において住民基本台帳の一部の写しの閲覧は可能。

Q 住民の異常を察知しやすい郵便局集配員等との協力体制を作っては。

A 情報提供の協力について郵便局と協議する。

馬場 和子

A 情報共有とマップ活用で福祉を向上

小川喜三郎

## Q 病児・病後児 保育事業は

べ安価に設定。県内他市でも医療機関併設型の運営形態の場合、料金は同一。



▲藤野こどもクリニック

**Q** 保育室の整備は。広さ約20㎡を使用し感染症予防のため、隔離の機能をもつ安静室を設け、間仕切り工事と室内の空調設備を整備する費用を補助する。

**Q** 保育所の定員と保育士と看護師の人数は。

**A** 定員は3名で、保育士と看護師がそれぞれ常時1名ずつの配置となる。

**Q** 利用料は。

**A** 県実施要綱には、必要な経費の一部を保護者負担とすることができるとあり、終日開設日の利用料は二千元とし、他の子育て支援サービスと比べ安価に設定。

## A 藤野こども クリニックで9月開設

## Q 生活保護不正受給の チェックを！



▲生活保護の申請窓口

**Q** 全国的に生活保護不正受給が問題視されているが、彦根市の実態はいかがか。

**A** 平成22年度の生活保護不正受給は42件、約5千3百万円。

**Q** 生活保護は最後のセーフティネットであり、国民の生活を最低限保障し、その自立を助長することが目的でなければならぬ。市として不正受給者に対する対応策は。

**A** 毎月収入申告書を提出してもらい、ケースワーカーの訪問・課税調査を行い、不正受給者に対しては返還を求め、再発防止に向け申告義務の周知徹底を行う。

北川 元氣

## A 再発防止に向け 周知徹底を行う

## Q 児童・生徒の 交通事故防止について



▲通学の状況

**Q** 交通事故に対する教育委員会の認識について。

**A** 亀岡市での事故は大変大きな衝撃であった。改めて命の大切さをかみしめ、各学校とも危機意識を共有し、安全対策に万全の体制で臨む。

**Q** 関係機関との連携対応について。

**A** 通学路に関する要綱に基づき、通学路に関する要望等については、各学校からの申し出に基づき関係機関に対し着実に要望・副申を行っている。

**Q** 児童・生徒に対する通学マナー教育について。

**A** 今回の事故を他人事とすることなく、自分の命は自分で守るという原則に立ち教育を強化する。

安居 正倫

## A 命の尊さをかみしめ 事故防止を図る



### Q 児童・生徒の 学校内外の安全確保は

駐車は諸  
課題を検  
討する必  
要がある  
が、まず  
は児童・  
生徒の安  
全確保に  
今後も努  
めていく。



▲校内駐車の様子

職員の自動車の学校敷地内

を整備。

用として必要最小限の台数分

東中の駐車場は、限られた敷地でグラウンド面積を確保するため、基本的に来客

の取組は。

東中の取組は評価するが、職員の自動車の学校敷地内駐車の取組は。

研修を積み上げる。

運用に問題はないか。ロールプレーなどの体験的

る。

大災害への学校防災マニュアルの全体版は検討中。今年度中に作成できるように努力してい

地震、原発事故などの対応マニュアルは。

有馬 裕次

A 今後も安全確保に努める

### Q 市立病院における 分娩再開の目途は

れば分  
娩再開  
は可能  
だが、  
常勤医  
1名の  
体制で  
は困難  
である。



▲院内助産所

スクに変わってしまおうのが分

娩である。常勤医が3名とな

院内助産所の分娩に加え、小児科や麻酔科などと連携でき

る強みを活かし、ローリスクの分娩を始めることは。

寄附講座による派遣を滋賀

医大に粘り強く要請するほか、ホームページによる募集や民間

の医師派遣業者を活用した取組

も進め、長期的に安定した医師確保がかなうよう、精力的に取

組を進める。

市立病院での分娩再開に向けた産科医確保について新病院長の決意は。

田中 滋康

A 産科医確保が  
厳しく期限明示は困難

### Q 中山最終処分場に 震災がれき搬入は

入することとなっている。災害廃棄物の搬入となると新たな協定を結ぶ必要がある。

清掃センターは、地元自治会と協定の締結はないが、大前提として市内の可燃物を燃やす

ために設置している。被災地の廃棄物処理となれば、地元の了解が必要である。中山最終処分

場は平成27年度末で余裕をもって閉鎖となるが、開設にあたり、地元自治会、連合自治会からさまざまな要望をいただき協定も締結している。大前提として、一市三町の廃棄物を搬

入することとなっている。災害廃棄物の搬入となると新たな協定を結ぶ必要がある。

清掃センターは、地元自治会と協定の締結はないが、大前提として市内の可燃物を燃やすために設置している。被災地の廃棄物処理となれば、地元の了解が必要である。中山最終処分

場は平成27年度末で余裕をもって閉鎖となるが、開設にあたり、地元自治会、連合自治会からさまざまな要望をいただき協定も締結している。大前提として、一市三町の廃棄物を搬

入することとなっている。災害廃棄物の搬入となると新たな協定を結ぶ必要がある。

清掃センターは、地元自治会と協定の締結はないが、大前提として市内の可燃物を燃やすために設置している。被災地の廃棄物処理となれば、地元の了解が必要である。中山最終処分

場は平成27年度末で余裕をもって閉鎖となるが、開設にあたり、地元自治会、連合自治会からさまざまな要望をいただき協定も締結している。大前提として、一市三町の廃棄物を搬

入することとなっている。災害廃棄物の搬入となると新たな協定を結ぶ必要がある。

安澤 勝



▲中山投棄場

A 地元の理解、  
新たな協定が必要

矢吹 安子

**Q** どうしますか。空き家対策！



▲空き家

**A** 空き家等、所有者の適正管理に必要な事項を定め、今年度早期に条例制定できるように取り組む。

**Q** 空き家が放置されると近隣に住んでいる人達から不安の声がある。今後、私有財産の管理が深刻な問題になる。空き家等の苦情件数と動向は。

**A** 平成23年度は18件の苦情、建物に関するもの、樹木の繁茂や枯れ草、不審者侵入など防犯に関するもの。近年増加傾向。

**Q** 住宅が建っている時と建っていない時の課税の違いは。

**A** 住宅の建っている時が算出税額は低くなる。

**Q** 空き家等に関する条例案は考えられないか。

**A** 空き家等適正管理条例制定に向かう

**Q** 新たなゴミ焼却施設の計画は公開で



▲現在の清掃センター

**A** 一般論として、住民の皆様のご意向に沿う形が大切と考え、地元の方の方向性が定まってから改めて説明の場をもちたい。

**Q** 彦根市・犬上3町・愛荘町の市町長等で構成する協議会で新たなゴミ焼却施設の候補地を4カ所から2カ所に絞ったというが、資料の公開がない。コンサル会社にかけて5百万円は税金。市民に公開すべきだ。

**A** 最終的に公開はするが時期や方法は慎重に考えたい。

**Q** 候補地はもとより近隣の集落、隣接する自治体、団体施設についても合意を形成する必要があると考えるが見解は。

**A** 公開するが時期と方法は慎重に行う

山内 善男

**Q** 備蓄倉庫や自家発電装置の整備を



▲防災倉庫

**A** スの拡大や可搬式自家発電機の設置についても検討していく。

**Q** 地域住民が避難される施設に対しての備蓄倉庫や自家発電装置は進んでいるか。

**A** 備蓄拠点としては、市内の3ヶ所に設置し、避難所となる学校施設には4校敷地内に防災備蓄倉庫を設置しているが、自家発電装置については設置していない。文部科学省の補助メニューに自家発電装置の設置や備蓄倉庫の整備等が盛り込まれていることから、施設管理者である教育委員会と研究している。また、今後応急的な措置として簡易的な既存備蓄スペースの拡大や可搬式自家発電機の設置についても検討していく。

**A** スペースの拡大と設置に向けて検討

上杉 正敏

安藤 博

## Q 高校再編の聴取に 対する市の見解は

単に聞き取りを行うといった実を積み上げるためと疑わざるを得ない強い憤りを覚える。



▲高校再編に係る意見聴取

**Q** 県教委は高校再編に係る意見聴取を、市教委と市PTA連協・市小中学校長会に対して実施したが、市の見解を求める。  
**A** 三者の意見聴取の前に県教育長が本市を訪問し、高校再編計画の策定に関しては従来7月に拘らず、地域の関係団体としっかりと意見交換を図り進めると話していた。しかし、6月の県議会の委員会で、統合は彦根西高校と彦根翔陽高校以外にない。また、従来の計画案の一部修正で対応し、9月に結論を出すかと答弁しており、

## A 県教委に疑念と 憤りを覚える

# 議会報編集委員会 視察報告



▲大口町、幸田町の議会報

愛知県大口町、幸田町はより充実した紙面づくりのため、「誰も読まない」という視点から取り組み始め、努力の結果、全国から視察に来られるまでになり、我々もおおいに見習うべき点があると感じました。  
両町の編集委員会では、より良い「議会だより」を作成するために、委員会主導で作成されています。

幸田町の委員からは、議会報編集委員だけでなく、議員全員が協力してくれる体制づくりなどの取組を紹介いただきました。両町での研修を通じ、



▲両町の議会報の内容

「ひこね市議会だより」のさらなる改善と充実を図っていかねばならないと感じました。

議会報編集委員会  
4月18日～19日  
愛知県大口町・幸田町  
議会報先進地視察

議場コンサートを開催しました

6月定例会開会日に開催された議場コンサートは、市内を拠点に活動されている「淡海琴佑会」の7人のメンバーによる大正琴の演奏が披露されました。

およそ80人の市民が、洗練された大正琴が奏でる懐かしい「古城」「故郷」「すきになつた人」「星影のワルツ」などの名曲の調べに酔いしれました。最後に「琵琶湖周航の歌」で締めくくり、会場からのアンコールに込め「恋



の季節」を演奏していただき、感動に包まれたひとときとなりました。



第16回

議場コンサート(予定)

**日時** 平成24年9月3日(月)  
13時から  
**場所** 彦根市議会議場  
(市役所5階)  
**出演** 森田 美知子 他  
**内容** オカリナ演奏  
**その他** 詳細は広報ひこねやホームページでお知らせ予定

次の定例会は  
9月です



本会議の日程(予定)

開	会	9月3日(月)
代	質	9月10日(月)
人	質	9月11日(火)
表	問	9月12日(水)
質	問	9月20日(木)
問	問	

委員会の日程(予定)

予	算	9月13日(木)
◆	企	9月14日(金)
◆	福	9月18日(火)

◆印の委員会は14時から、それ以外は9時から開催予定

編集後記

議会報編集委員会は昨年1年をかけて、議会や議員の活動をよりご理解いただくための『市議会だより』になるように議論を重ねてきました。今年度新たな委員構成になり一人でも多く、市民の皆さんに手にとって読んでいただける紙面づくり」に取り組んでいく所存です。

まだ模索の段階です。ぜひご意見を寄せください。

(山田多津子)

議会報編集委員

山田多津子 有馬 裕次  
上杉 正敏 安居 正倫  
辻 真理子 安澤 勝  
宮田 茂雄

